

Musa

博物館学芸員課程年報

第40号



2025年度

追手門学院大学

Musa

博物館学芸員課程年報

第40号



ルーヴル・アブダビ (Louvre Abu Dhabi) とランウェイ

(表紙写真：ルーヴル・アブダビ外観)

(扉写真：ルーヴル・アブダビのランウェイ)

ICOMドバイ大会開催期間中の2025年11月14日、ルーヴル・アブダビを訪問した。ルーヴル・アブダビはアブダビ市内からタクシーで20分ほどのサディヤット島内にある。サディヤット文化地区にはグッゲンハイム・アブダビが2026年の開館を目指して工事中であるほか、自然史博物館（2025年11月22日開館）、ザイド国立博物館（2025年12月3日開館）が開館直前であった。また2025年4月18日にはチームラボフェノメナも開館している。

イスラム圏のアラブ首長国連邦では女性は肌の露出を控えるべき、とガイドブックには書かれているが、ルーヴル・アブダビでは露出度の高い華やかなドレスを着た女性が目立ち、この謎は最後に解けることになる。館内では世界各地で同年代に生まれた文化遺産・美術作品が並列で展示され、大勢の観衆の鑑賞に耐えるよう、壁面の展示以外は全方向から眺められる配置が多い。

展示室を出たあと、建築家ジャン・ヌーヴェルが手がけた浮遊するドームの下を歩いていると、海側を覗き込む人だけが見える。近付いて見ると、海中に設置されたランウェイ（花道）の上を、着飾った女性たちが順番に歩いている。人だけからは、彼女たちを撮影する家族や同伴者たちだった。もはやフランチャイズの美術館とその展示物はブランドでしかなく、主役は「私」自身であり、投稿されるショート動画なのである。

(瀧端真理子)

2025年度

Musa

博物館学芸員課程年報

第40号

目 次

アイヌ文化関連施設における「アイヌ語の多言語化」課題 —中国語を目標言語として—	劉 高力	1
「朽ちゆく資料」から「動く資料」へ —ポータブル蓄音機再生に見る民具活用の可能性—	宮元 正博	13
私立大学附属水族館の存続活動 —東海大学海洋科学博物館を残す会の活動—	西 源二郎	21
ワークショップにおける実施環境改善の実践的検討 —親子の対話と体験の持続性に着目して— 北村美香・池田裕介・大久保その子		33
ライセンス供与によるミュージアムの拡大 (1) —V&Aでの提携館誕生の経緯—	瀧端 真理子	41
2025年度『博物館実習日誌』より		53
2025年度博物館実習レポート「博物館実習で学んだこと」		71
2025年度各館実習、実習先一覧・実習生名簿		89
編集後記		90
【Musa（博物館学芸員課程年報）投稿規定】		91

Musa (博物館学芸員課程年報) 第 40 号 2025 年度

発行日 2026 年 3 月 31 日

発行所 追手門学院大学博物館研究室

〒 567-8502 大阪府茨木市西安威 2 丁目 1 番 15 号

TEL (072) 641-9547 FAX (072) 643-9432

発行責任者 瀧端真理子

印刷所 有限会社 テトラ

〒 530-0041 大阪市北区天神橋 2-3-27 辰巳ビル 2 階

TEL (06) 6353-7701 FAX (06) 6353-6604

